

# 注 意 事 項

## 1 受付について

- (1) 各校引率教員または所属団体の代表者は、競技場入場時に受付をすること。（教員または所属団体の代表者の受付がないとき、選手は競技に出場できない）。

## 2 競技規則および申し合せ事項について

- (1) 本大会は、2024年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会競技注意事項に基づいて行う。
- (2) 本大会のスタート動作における競技規則については、国内適用で競技を行う。

## 3 招集について

- (1) 招集所は100mゴール後方に設ける。
- (2) 招集時間は次の通り。

ア	トラック競技 競技開始時刻の40分前から始め、20分前に完了
イ	フィールド競技（棒高跳を除く） 競技開始時刻の50分前から始め、30分前に完了
ウ	棒高跳 競技開始時刻の90分前から始め、60分前に完了

- (3) 招集時間に遅れた者は棄権とみなし、出場を認めない。
- (4) 欠場者は、記録室へ報告する。

## 4 リレー競技のオーダー用紙提出について

- (1) 予選は招集完了時刻の30分前まで、決勝は招集完了時刻の1時間前までに、記録室へ各校の顧問または所属団体の代表者が提出すること。
- (2) 提出時間に遅れたチームは、棄権とみなし出場を認めない。

## 5 アスリートビブス（ゼッケン）について

- (1) トラック競技・投擲競技については胸背部に確実に付けること。
- (2) 跳躍競技については、背または胸につけるだけでもよい。

## 6 腰ナンバーカードについて

- (1) 800m以上の競技及びリレーの4走者は腰ナンバーカードを右腰やや後方に数字がよく確認できるように付けること。
- (2) 競技終了後は、ナンバーカードをゴールの出発係に返却してください。

## 7 使用器具について

- (1) 原則として競技場備え付けのものを使用する。ただし、「ポール」と「投擲器具」については各校から持参したものを使用してもよい。ただし、投擲器具については大会本部にて検査を受けること。なお、検査については次のとおりにする。

検査時間	招集開始20分前から招集開始時刻まで
検査場所	100mゴール付近の器具庫前

## 8 競技実施方法について

- (1) トラック競技
  - ① 計時は全て写真判定装置を使用する。
  - ② 男子110mH、女子100mHはハードル練習の時間を次のとおり設ける。  
〔予選〕 競技開始時刻の前10分間 〔決勝〕 競技開始時刻の前5分間
- (2) フィールド競技
  - ① 走高跳を除く跳躍競技とやり投の競技者は、主催者が用意したマーカーを助走路の外側に2個まで置くことができる。
  - ② 走高跳の競技者は、各自で用意したマーカー（粘着テープ）を助走路内に2箇所まで使用できる。

## 9 競技運営について

- (1) 競技者及び学校・所属関係者は、ビデオ装置・レコーダー・ラジオ・CD・トランシーバーや携帯電話もしくは類似品の機器をトラックとフィールド内で所持又は使用することはできない。撮影については15項（写真、ビデオ撮影について）を参照のこと。
- (2) 競技者は、競技場所から勝手に離れることはできない。

- (3) 抗議は、競技規則で定められた時間内(結果がアナウンスされた時刻を正式発表とする)に、競技者自身もしくは代理人が担当総務員を通じて審判長に対して口頭で行い、控室で待機する。その後の審判長裁定に不服の場合は、預託金(1万円)を添えて「抗議申立書」により担当総務員を通じてジュリーに申し出る。
- (4) スタート時のイエローカード(以下、YC)について
- ① WA競技規則CR18.5の規定により、TR6、16.5、17.14、17.15.4、25.5、25.19に違反があった競技者やリレーチームにYCを提示し警告を与える。この場合、他の種目との合算はなく、種目ごとに累積し種目ごとにリセットする。
  - ② 同一種目で2回のYCの提示を受けた競技者は、当該種目を失格とする。ただし、それ以後の他の種目の出場は可能である。YCの提示の累積は、当該種目のみに適用する。
- (5) 競技用靴については<https://www.jaaf.or.jp/about/resist/technical/shoes/>を参照し、順守すること。WA規則第143条(TR5:シューズ)のルールを順守すること。また、令和3年4月14日付の日本陸連発出の文章「陸連21発第5-2号」に基づき、本大会は、フィールド競技用シューズのTR5.5を適用せず実施する。記録は国内の公認記録として認められる。フィールド種目についてはWAへの申告を行わず、国際大会への参加資格とはならない。
- (6) 全天候型トラックなので、トラック・フィールドともにスパイクのピンの長さは7mm以下のものを使用すること。ただし、走高跳・やり投は12mm以下のものを使用すること。トラック競技において、ゴール後は正面スタンド裏を通行し各校ベンチに帰ること。その際、正面スタンド裏をスパイクで通行することは禁止する。
- (7) 競技中のケガ等については応急処置を行うが、その後は各学校で対処するが、以後の責任は一切負わない。
- (8) トラック競技のレーン順およびフィールド競技の試技順については、すべてプログラム記載どおりに行う。
- (9) 800mの9~11人目については、8、7、6レーンの順に入る。  
スタート位置は、腰ナンバーカードが9~11番について、各レーン外側とする。
- (10) 長距離競技の給水は主催者が用意する。
- (11) フィールド競技は、すべて計測する。
- (12) 棒高跳については、天候不良の(予想される)場合、競技日時を変更することもある。
- (13) 走幅跳は2ピットで行う。三段跳の踏切板は男子10m、女子8mとする。高さの競技におけるバーの上げ方は枠内の通りとする。

**<バーの上げ方>**

(男子) 走高跳 練習(1m60 1m80)  
1m65、1m70、1m75、1m80、1m85、  
1m90、1m95.....(以降3cmずつ)  
棒高跳 練習(3m00 3m40 4m00)  
3m20、3m40、3m60、3m80、  
4m00.....(以降10cmずつ)

(女子) 走高跳 練習(1m30 1m50)  
1m35、1m40、1m45、1m50、1m55、  
1m60、1m65.....(以降3cmずつ)  
棒高跳 練習(1m80 2m20)  
1m80、2m00、2m20.....(以降10cmずつ)

- (14) トラック競技とフィールド競技に重複して出場する選手はトラック競技を優先する。その場合、フィールド競技役員に必ず許可を得ること。
- (15) リレー競技のマークについては競技場備え付きのもの、または各団体が準備したものを使用しても良い。
- (16) 写真判定器に不備が生じた場合は、再レースを行うことがある。
- (17) 競歩の競技時間を以下のようにする。

男子 5000mW 打切時間 31 分  
女子 5000mW 打切時間 36 分

## 10 競技の番組編成について

- (1) トラック競技の決勝進出者の発表はアナウンスおよび記録速報（東三河陸上競技協会HP）で行う。
- (2) タイムによる次のラウンドに進む出場者の決定について、同記録がありレーン数が不足するときの処置は、写真判定主任が同記録者の写真を拡大し、より細かくタイムを判定して出場者を決定する。それでも決定できないときは、抽選とする。その他の同記録の場合も同様とする。

## 11 表彰について

- (1) 各競技3位までの入賞者は賞状を授与する。
- (2) 賞状の授与は顧問または所属団体の代表者にまとめて行う。

## 12 ゴミについて

- (1) 出したゴミについては、各自が責任を持って自宅へ持ち帰ること。

## 13 競技場での練習について

- (1) 大会準備に支障のない範囲で可とする。ただし、競技会開始時刻の20分前までとする。
- (2) 雨天走路は立ち入り禁止とする。
- (3) 競技場周辺での練習については、公園利用者等に迷惑になるような行動は慎むこと。
- (4) 男女5000m、男子3000mSC、男女5000mWの競技中においては、バックストレートの外側のレーンを利用してウォーミングアップをしてもよい。ただし、バックストレートを競技者が通過中は認めない。なお、最小限の人数・最小限の利用にすること。

## 14 応援について

- (1) 競技スペースや立ち入り禁止区域には入らないこと。また、正面スタンドは各学校選手・生徒・学校関係者・競技役員及び団体の控え席とし、保護者の入場はご遠慮下さい。
- (2) 保護者などの一般観戦者は土手面での応援にご協力ください。
- (3) 選手・生徒・学校関係者の応援は正面スタンドおよび土手面で行い、競技スペースや立ち入り禁止区域には入らないこと。
- (4) メガホンなどを使用した集団応援は禁止する。
- (5) 競技の進行に支障のある応援を禁止する。特にスタート時は注意すること。
- (6) 正面スタンド最前列での立っての応援を禁止する。
- (7) カラーコーンなどで規制されたエリアには立ち入らないこと。

## 15 各校のベンチについて

- (1) 正面スタンドにおけるベンチについては、指定された場所に設営すること。また、荷物については競技終了後、必ず持ち帰ること。
- (2) 競技場外にベンチを設置しないこと。

## 16 写真・ビデオ撮影について

- (1) 生徒たちの人権保護・肖像権保護のため、競技会における写真・ビデオ撮影について、ご理解とご協力をお願いします。各校に係る団体等が撮影を希望する場合は、必ず本部で許可を得ること。

### <観客席からの撮影制限>

- 1 観客席での撮影を禁止させていただくエリアは下記の席です。
  - ◆各種目のスタート後方
  - ◆走高跳、走幅跳・三段跳・棒高跳の助走後方・着地前方
  - ◆走高跳マットに向かった正面（クリアランス動作中）
- 2 保護者および本人の了解がない撮影を禁止します。
- 3 選手がスターティングブロックの足あわせをしたり、試技を待っていたりする間や、体を動かしているなどの準備の行動は撮影を禁止します。
- 4 他者に著しく迷惑をかける行為と主催者で判断した場合は、速やかに警察および関係機関に連絡をとります。